

公告 昭 36.4.11 出願 昭 33.7.4 実願 昭 33 - 34196

考 案 者	柳 沢 明	東京都足立区梅島町 1 栗林写真工業株式会社内
出 願 人	栗 林 敏 夫	東京都足立区梅島町 1

(全 2 頁)

一眼レフレックスカメラに於けるレリーズボタンに依る作動装置

図 面 の 略 解

第 1 図はレリーズボタンに依る作動装置要部斜
面図、第 2 図は同上要部側面図。第 3 図は同上要
部側面図でレリーズボタンを押圧しシャッター作
動時の状態を示す。

実 用 新 案 の 説 明

本案はレリーズボタンを押圧する事に依つて反
射鏡支持板を釈放し蓄勢された反射鏡支持板軸の
発条の緊張で反射鏡支持板は跳ね上げられその状
態を保持してシャッター後膜走行完了後直ちに作
動を開始する反射鏡迅速復帰装置を介して反射鏡
支持板を原位置に復帰させる一眼レフレックスカ
メラに於いて、レリーズボタンと共動する槓桿で
反射鏡支持板と係合板の系合を外し跳ね上げる反
射鏡支持板に依り掛止桿を回動させ槓桿に右退避運
動を与え槓桿と係合板との系合を外し係合板は原
位置に帰つてシャッター作動後復帰装置に依り復
帰して来た反射鏡支持板を拘束出来得る状態にな
さしめるレリーズボタンに依る作動装置に関する
ものである。

第 2 図に於いて符号 1 は軸 2 に発条を巻き込み
左旋回力を有する反射鏡支持板であり、3 は上下
方向に運動し軸芯にスプリングが装入したレリ
ーズボタンであつて槓桿支持板 4 が固着され槓桿支
持板 4 の軸 5 には槓桿 6 が軸着されており巻き込
まれた発条で左旋回力を持つている。

係合板 7 は反射鏡筐 8 の内側に軸着され発条に
より左旋回性が与えられ鉤部 9 は反射鏡支持板 1
の側面突桿 10 と系合し固植された突桿 11 は反
射鏡筐 8 の長透孔 12 より外面に臨んで突出し槓
桿 6 の下端掛部 13 と系合する。

該槓桿 6 の上端部 14 は掛止桿 15 の立起り面
16 と摺動系合する。

掛止桿 15 は反射鏡筐 8 に揺動自在に軸着され
て巻き込まれたバネに依り右旋回の習性が与えら
れ腕片 17 に植着された突桿 18 は反射鏡筐の長

透孔 19 から筐内部に臨んで突出し反射鏡支持板
1 と係合する。

該掛止桿 15 の上端部 20 は既でに公知の機構
であるシャッター先膜歯車を系止する掛片 21 に
臨ませてある。反射鏡筐 8 には掛止片 22 が軸着
され巻き込まれた発条により右旋回性が与えられ
ているが突桿 23 によりその旋回は制御され掛止
片 22 の鉤部 24 は槓桿 6 に植着された突桿 25
と系合する。

本案は以上の構造をなしており実施例を図面に
於いて説明すると第 2 図で既でに公知の通りフイ
ルム捲上げ完了時に於いてレリーズボタン 3 を矢
印 A 方向に押圧すると槓桿 6 の下端掛部 13 は係
合板 7 の突桿 11 を押し進み係合板 7 を右旋回なら
しめるこのため反射鏡支持板 1 の突桿 10 と係合
板 7 の鉤部 9 との系合は外され反射鏡支持板 1 は
軸 2 の発条の蓄勢された駆動力により跳ね上げら
れるが停止点前で掛止桿 15 の突桿 18 と系合し
掛止桿 16 を左旋回なさしめる。

掛止桿の左旋回により掛止桿 15 の立起部 16
は槓桿上端 14 を右方向に押し進み槓桿 6 は軸 5 を
軸として右旋回し槓桿 6 下端の掛部 13 と係合板
7 の突桿 10 との系合は解かれ係合板 7 は原位置
に復帰する。該槓桿 6 の右方向旋回に伴つて槓桿
6 に固植せる突桿 25 に押し下げられた掛止片 22
は鉤部 24 で突桿 25 と系合する。

掛止桿 15 の左旋回によつて掛片 21 は押し進
まれて公知のフォーカルプレーンシャッター機構の
緊張を解き先膜を釈放し規定時間後後膜を釈放し
て云々露出作動をなさしめるのであるが先膜
及び後膜の走行が完了すると反射鏡迅速復帰装置
に依り反射鏡支持板 1 は原位置に復帰させられ右
旋回を始める。第 3 図

反射鏡支持板 1 の右旋回により掛止桿 15 の突
桿 18 との系合は外され掛止桿 15 は右旋回の習
性により原位置に復帰し掛止桿 15 は掛止片 21

との系合を解くと共に立起部 16 と槓桿 6 の上端部 14 との系合は解除されるが槓桿 6 は突棒 25 と掛片 22 の鉤部 24 の系合により左旋回は阻止されそのまゝの状態であり迅速復帰装置に依つてなをも右旋回している反射鏡支持板 1 は原位置に復帰させられて来るが迅速復帰装置による復元力が解かれる寸前にて反射鏡支持板 1 の突棒 10 は係合板 7 の先端を摺動し鉤部 9 で系合して支持板の左旋回力は拘束される。

リリースボタンの押圧を解くとスプリングの蓄勢にて槓桿 6 と共に上方にリリースボタン 3 は運動して掛止片 22 の鉤部 24 と槓桿 6 との系合は外され第 2 図の状態に槓桿 6 は復帰する。

此の様に本案はシャッター作動に先立つて反射鏡支持板 1 を跳ね上げシャッター膜走行終了後直ちに反射鏡復帰装置により原位置に復帰して来る反射鏡支持板 1 を拘束しようとするものであるが、従来公知の機構のものは捲取軸を回動する事により反射鏡支持板及び係合板を原位置に復帰せしめ反射鏡支持板 1 の左旋回を係合板 7 にて拘束するものであつたが撮影終了後直ちに作動する反射鏡

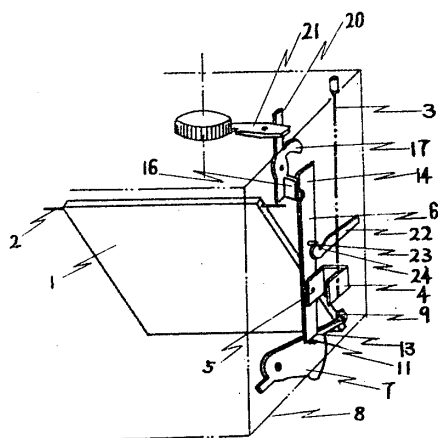
迅速復帰装置によつて反射鏡支持板 1 を原位置に復帰せしめる場合リリースボタン 3 と係合板 7 が直接的に運動しているリリースボタン作動装置の爲めリリースボタンの押圧時間によつては原位置に復帰して来る支持板 1 を拘束出来ぬ場合があり特にシャッター速度が高速のときには此の現象が容易に生ずる欠陥があつた。

本案は前記構造をもつて上記の欠陥を全面的に解決し一眼レフレックスカメラの反射鏡作動の迅速化とオートマテックな機構とならしめ少数部品を加える事に依り簡単に且つ確実な作用をなさしめるものとして実用上有益である。

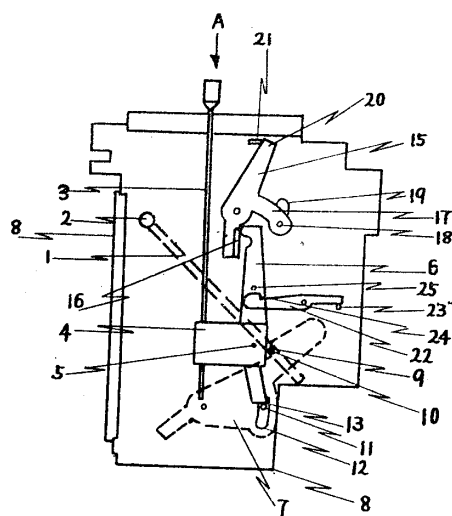
登録請求の範囲

リリースボタン 3 と共動する槓桿 6 に依り係合板と反射鏡支持板 1 との系合を外し反射鏡支持板 1 跳ね上げ後に作動する係止棒 15 の回動により前記槓桿 6 を押圧し該槓桿 6 と係合板 7 との系合を外し係合板 7 を原位置にもどし掛止片 22 との系合にて槓桿 6 の掛部 13 を係合板 7 より退避の状態に保持させる如くなした一眼レフレックスカメラに於けるリリースボタンに依る作動装置。

第 1 図



第 2 図



第 3 図

